

アルミ2段柱3型・3段柱1型

取付説明書 — シャレオRフェンス・プリレオRフェンス・ハイミレーヌRフェンス —

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


警告

- フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。


注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。


ポイント

- パネル本体とパネル本体の連結方法は「端部キャップセット(C286)」の取付説明書をご参照ください。

<施工上のご注意>


注意

- 現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
- 柱と本体ジョイント部の間隔は200mm以内に施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。

<基礎工事について>

⚠ 注意

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 指定基礎寸法は必ず守ってください。

■ 梱包明細表

①2段柱3型セット

名称	略図	員数
2段柱		1

③3段柱1型セット

名称	略図	員数
3段柱		1

②2段柱3型部品セット

名称	略図	員数
上ブラケット		1
中間ブラケット		1
下ブラケット		1
すき間隠し材		2
②-① φ5×10トラスピンネジ3種 D=8		2
②-② φ4×12トラスネジ3種 D=8		2
取付説明書	—	1

④3段柱1型部品セット

名称	略図	員数
上ブラケット		1
中間ブラケット		2
下ブラケット		1
すき間隠し材		2
④-① φ5×10トラスピンネジ3種 D=8		3
④-② φ4×12トラスネジ3種 D=8		2
取付説明書	—	1

1. 基本寸法

1-1 アルミ2段3型柱

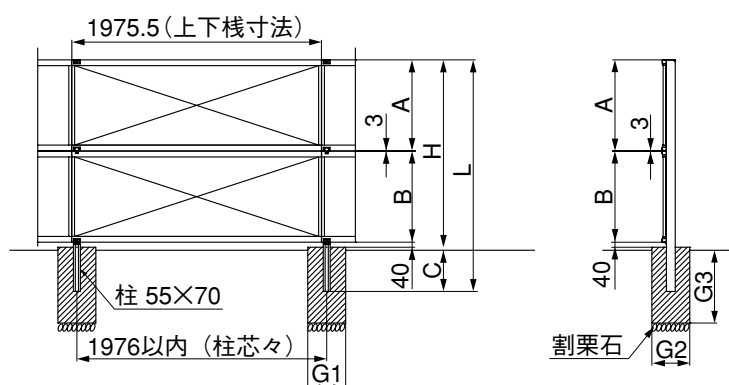


図1-1 連続基礎の場合

⚠ 注意

- 柱はブロックに施工はしないでください。高尺により強い風圧を受け飛散事故の原因になります。
- 基礎が沈降したり傾いたりするのを防止するために必ず割栗石を敷いてください。（図1-1参照）

🔑 ポイント

- コーナー部の納まりについては「端部キャップセット (C286)」の取付説明書「1.基本寸法図」をご覧ください。

呼称	H	L	A	B	C	G1	G2	G3	G4	G5
T-06-06	1123	1423	540	540	300	300	300	500	300	300
T-08-06	1303	1653	720	540	350	300	300	600	300	350
T-08-08	1483	1833	720	720	350	300	300	600	300	350
T-10-08	1683	2033	920	720	350	400	400	600	300	350
T-10-10	1883	2233	920	920	350	400	400	600	350	350

1-2 アルミ3段1型柱

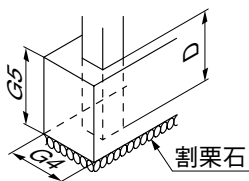
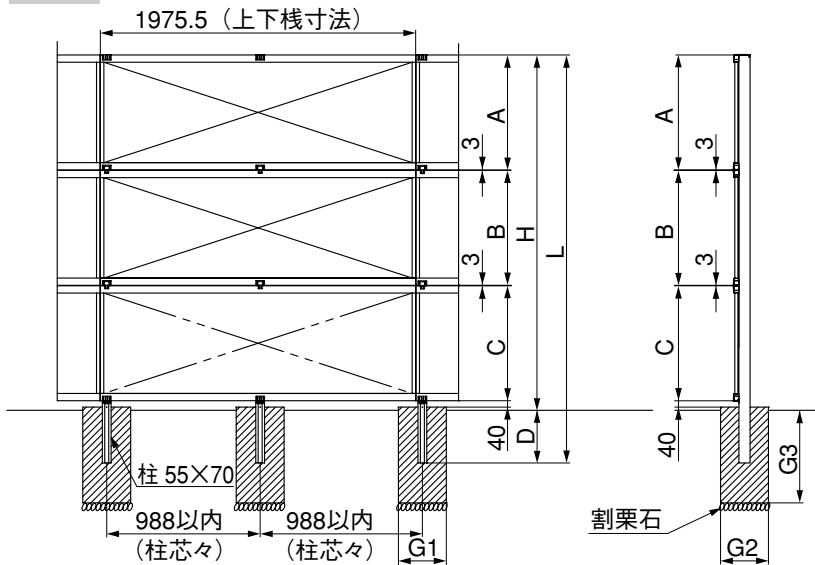


図1-2 連続基礎の場合

呼称	H	L	A	B	C	D	G1	G2	G3	G4	G5
T-08-08-06	2026	2476	720	720	540	450	500	500	600	300	450
T-08-08-08	2206	2656	720	720	720	450	500	500	600	300	450
T-10-08-08	2406	3006	920	720	720	600	600	600	600	300	600
T-10-10-08	2606	3206	920	920	720	600	600	600	800	300	600
T-10-10-10	2806	3406	920	920	920	600	600	600	800	300	600

注意

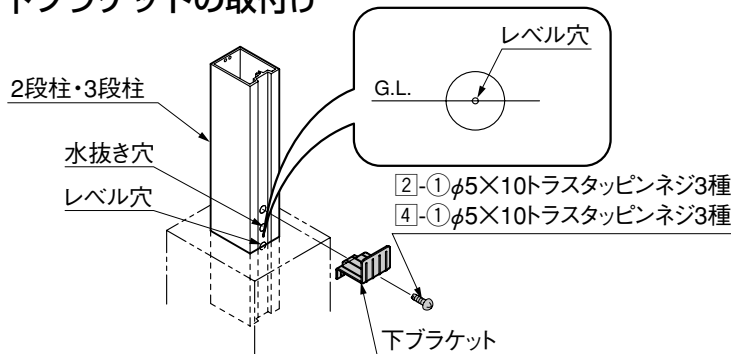
- 柱はブロックに施工はしないでください。高尺により強い風圧を受け飛散事故の原因になります。
- 基礎が沈降したり傾いたりするのを防止するために必ず割栗石を敷いてください。(図1-2参照)

ポイント

- コーナー部の納まりについては「端部キャップセット (C286)」の取付説明書「1.基本寸法図」をご覧ください。

2. パネル本体・柱の取付け

2-1 下ブラケットの取付け

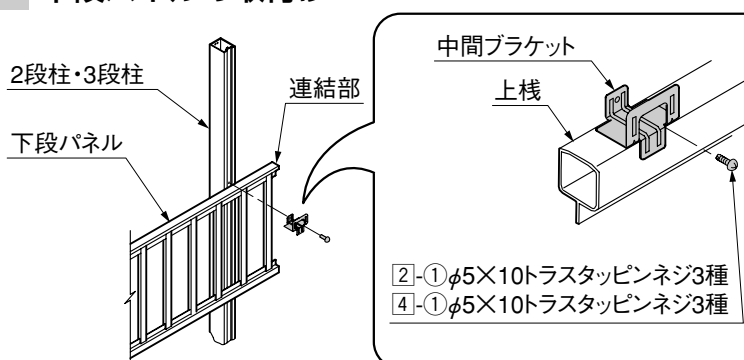


- ① レベル穴の中心 (1-1 表内C寸法または 1-2 表内D寸法)まで2段柱、3段柱を埋込んでください。
- ② 下ブラケットを2-1、4-1で取付けてください。

注意

- 柱埋込み時には水抜き穴を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進されるだけでなく溜まった水が凍結し、破裂するおそれがあります。

2-2 下段パネルの取付け



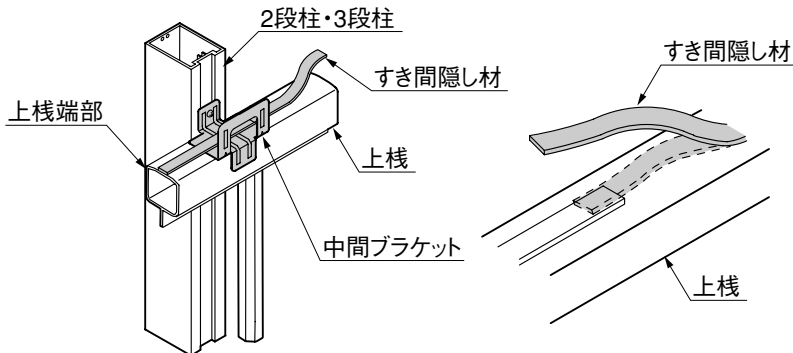
- ① 下段パネルを下ブラケットに載せてください。
- ② 下段パネルの上縁に中間ブラケットを設置し2-1、4-1で2段柱、3段柱に固定してください。

ポイント

- パネルの連結部をまたいでブラケットを取付けしないでください。パネル同士の連結ができなくなります。

2. つづき

2-3 すき間隠し材の取付け

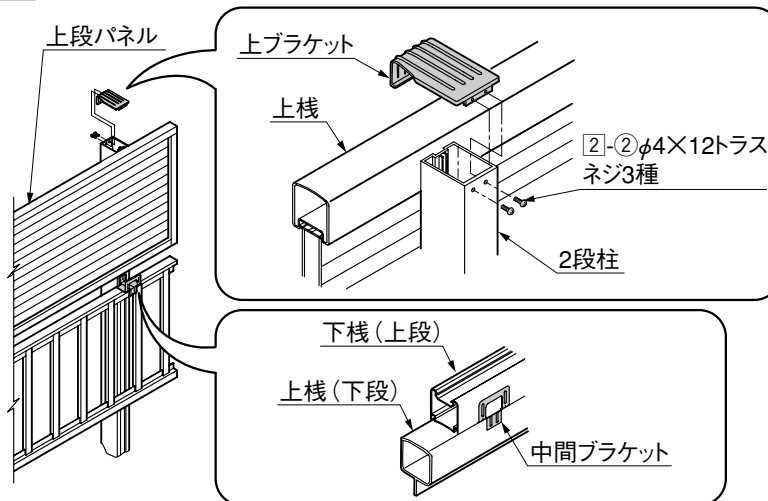


- ① 上棧上部にすき間隠し材を貼付けてください。

ポイント

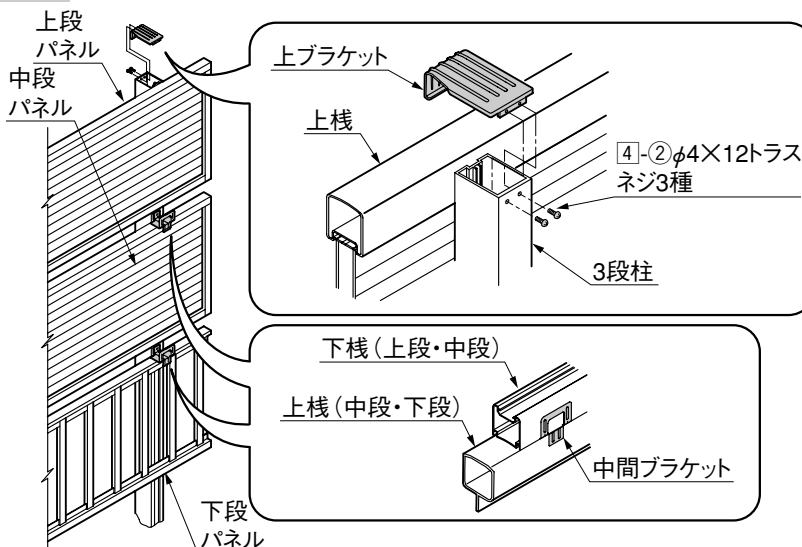
- すき間隠し材は上棧の両端から貼付け、上棧中央でラップする部分には上から重ねてください。
- すき間隠し材は中間ブラケットの上から貼付けてください。

2-4 アルミ2段柱3型上段パネルの取付け



- ① 上段パネルを中間ブラケットに載せてください。
- ② 上ブラケットを②-①で取付けて、上段パネルを2段柱に固定してください。

2-5 アルミ3段柱1型上段・中段パネルの取付け



- ① 中段パネルを 2-2・2-3 と同様に取付けてください。
- ② 上段パネルを中間ブラケットに載せてください。
- ③ 上ブラケットを④-①で取付けて上段パネルを3段柱に固定してください。

取説コード

C294

200209A_1007
200302B_1007